

## 東京科学大学等との産学公連携による共同研究の取組状況について

令和7年度から令和10年度までの予定で実施している国立大学法人東京科学大学、株式会社D-attend及び中野区の3者による中野区をフィールドとした共同研究の取組状況について報告する。

### 1 令和7年度における共同研究の状況

#### (1) 共同研究の概要

地域共通カード「粹っとパス」で、高齢者の地域コミュニティへの人流を作るとともに、地域コミュニティをはじめとした様々な日常の接点で高齢者の参加歴・生活歴を「生活カルテ」として縦断的に記録し、適切な資源へと繋げる（別紙参照）。

#### (2) 区民等の参加状況（令和7年12月31日現在）

- ・参加コミュニティ数 30団体
- ・登録者数 615名

#### (3) 登録カードの利用状況

登録した高齢者等の約90%がコミュニティへの参加時にカードを持参して登録している。登録時に体調を入力するため、体調の変化や出欠状況を記録することができ、データベースとなっている。また、カード取得をきっかけに複数の場所に参加する利用者も見られるようになった。

### 2 令和8年度に予定している取組

#### (1) 健幸プラザ、地域コミュニティへの展開拡充

- ・健幸プラザ 4館（予定）
- ・コミュニティ 25団体（予定）

#### (2) 支援機関との連携

異変を発見した際の支援機関（すこやか福祉センター、地域包括支援センター等）との連携方法の検討、試行

# ● 「粹っとパス & 生活カルテ」とは

地域共通カード「粹っとパス」で、高齢者の地域コミュニティへの人流を作るとともに、地域コミュニティをはじめとした様々な日常の接点で高齢者の参加歴・生活歴を「生活カルテ」として縦断的に記録し、適切な資源へと繋げます。



## 「粹っとパス&生活カルテ」の使い方

「粹っとパス」はITが苦手な高齢者でも簡単に使える、地域共通の受付カードです。受付で名前を紙に書く代わりに、カードを専用アプリで読み取り、簡単な質問に答えて受付完了です。

### 1 参加者にカードを配布



#### かんたんログイン 特許申請中

カバーを外してバーコードとQRを同時に読み込めば、誰でもログインできます。パスワードを覚えるのが難しい方にも！

### 2 受付でカードをピッ！



いつもの受付がカードに  
参加者はカードを取り出して、カメラにQRをかざすだけ。皆さん慣れると進んでカードを用意していただけます。

### 3 体調質問に回答！



#### 生活情報を縦断蓄積

5段階の体調質問等を、参加者がタップして回答します。質問をきっかけに、参加者と主催者の会話を生み出します。

### 4 生活カルテを確認



#### 生活異変を連携（開発中）

蓄積した生活情報をアプリで確認できます。異変に応じて必要な地域資源への連携に活用できます。